

# 令和2年度災害復旧支援エンジニア活動報告（河北町）

- 令和2年7月28日～29日の梅雨前線豪雨により県内、特に村山地方では、多くの場所で被災しました。

8月18日、河北町より建設技術センターに災害対応について技術支援の要請があり、センターは、平成25年度に県と協定した「技術職員OBによる災害支援に関する協定」に基づき、3名の災害復旧支援エンジニアを迅速に派遣し、災害支援を実施しました。

## 【河北町】

- 派遣要請 ・ 8月18日（火）に河北町より災害復旧に関する技術支援の要請
- 派遣の実施 ・ 8月21日（金）に災害復旧支援エンジニアを派遣し支援活動
  - ◆被災状況（町道両所山口線外5路線）土砂崩れ、路肩崩壊、路面崩壊、洗掘崩壊 N=10箇所
  - ◆活動状況①（災害復旧支援エンジニアへの派遣依頼）
    - 8月18日 ・ 「災害復旧支援エンジニア登録者名簿」より地域性の考慮、当日の活動可能なエンジニアとして、牧野卓氏、佐藤義治氏及び片桐博夫氏へ派遣を依頼
  - ◆活動状況②（役場で被災状況についての聞き取り確認及び助言）
    - 8月21日 ・ 河北町会議室にて、被災状況を町職員より説明を受け、査定時の考え方等を助言
  - ◆活動状況③（被災現地での助言・指導）
    - 21日 ・ 現地にて、被災状況を視察し被災状況の考え方・被災状況の撮影箇所や復旧方法の進め方等を助言・指導
  - ◆活動状況④（役場で被災箇所について再確認のうえ助言・指導）
    - 21日 ・ 河北町会議室にて、査定に関して注意しなければならない点などの技術的な指導と申請時の考え方等を助言

- ☆ 町道両所山口線外5路線
- ・ 各被災箇所で、復旧工法の留意点を助言
  - ・ 応急工事の実施に関する留意点を助言
  - ・ 申請箇所の考え方を助言

[災害復旧支援エンジニア制度；災害が発生した場合、県・市町村からの要請を受けて専門技術者が発注者の立場で助言・指導を行う]

